



平成28年10月10日
市議会議員 坂澤博光

平成28年第3回各務原市議会が9月12日（月）から10月7日（金）まで開催されましたので、その概要について報告します。

1 平成27年度一般会計決算

平成27年度一般会計決算は、1年間の収入が約497億6千万円、支出が約460億9千万円となり、翌年度に繰り越すべき財源を差し引くと約33億4千万の黒字になりました。また、プライマリーバランス（基礎的財政収支）も黒字になりました。

自治体の財政の健全化判断比率による実質赤字比率及び連結実質赤字比率では、赤字がなく、将来負担比率も算定されない良好な状態を示しています。

また、実質公債費比率（借金の返済に充てる財源の標準財政規模に占める割合）も0.6%であり、健全な財政状況にあることを示しています。

2 平成28年度一般会計補正予算

平成28年度始めの予算に対し、約1億3千万円の増額補正となりました。

これは、高齢者福祉対策として介護ロボットを導入する事業所に対する補助金、10月1日から新たに定期接種化されるB型肝炎予防接種に係る必要額、地方創生交付金を活用した航空宇宙科学博物館の展示機の説明映像ソフトに必要な予算です。

3 工事請負契約の締結

(1) 航空宇宙科学博物館リニューアル工事（建築、空気調和設備、電気）の共同企業体との契約締結に同意しました。

(2) 雄飛ヶ丘第2住宅A棟の耐震補強等工事（建築）の共同企業体との契約締結に同意しました。

4 スパークの一般質問

9月27日（火）に一般質問しました。その概要です。

(1) 平成27年度事業成果報告や実績の有効性評価について

・問：事業成果や実績の有効性をどう評価するか。

・答：総合計画の達成指標を活用し各施策・事業の達成状況や効果の検証を行う「行政評価」に取り組みます。今年6月、18歳以上の市民3000人と中高生500名を対象に意識調査をしたので、これを基に主観的指標により成果を検証します。



また、行政内部による視点だけで完結しないよう外部有識者から構成される「まちづくり推進会議」で評価の有効性を審議してもらいます。



- ・問：事業の達成指標と有効性評価を公表しては。
- ・答：行政評価の取り組みについては、市民意識調査の結果を含め、市ウェブサイト公表する予定です。

(2) 本庁舎が被災した場合のバックアップ体制について

- ・問：災害対策本部の場所はどこになるのか。
- ・答：被災により本庁舎に災害対策本部を設置することができない場合、産業文化センター、総合福祉会館、中央図書館の順に災害対策本部を設置します。
- ・問：市長不在の際の代行の順序は。
- ・答：市長が不在または事故がある時は、副市長、部長の順に本部長を代行します。
- ・問：被災状況に関する情報収集は。
- ・答：有線の通信手段として非常時に使用可能なアナログ電話回線で、無線では可搬式アンテナを使用した271箇所の地域防災無線で情報収集します。

(3) 航空宇宙科学博物館リニューアルにおける展示航空機などについて

- ・問：展示航空機や展示ソフトはどのようなものがあるか。
- ・答：展示内容は「航空エリア」と「宇宙エリア」で構成され、航空エリアでは展示ストーリーを明確にした上で4つのゾーンに区分して展示します。
最初のゾーンでは「サルムソン」をシンボル展示とし、航空機産業が生まれた頃の各務原を描き出します。2つ目は「飛燕」「零戦」を中心に展示します。3つ目は、戦後の航空機開発を体系立てて紹介します。4つ目は、航空機の仕組みを学習し、航空機シミュレーターの操縦体験ができる場所をつくります。
また、詳しく説明が必要な機体について、映像コンテンツを制作し展示物の情報をわかりやすく、より深く提供できるようにします。
- ・問：収蔵庫展示の期間及び内容は。
- ・答：航空機のシミュレーターを収蔵庫に移設して稼働します。もう一つは修復された「飛燕」を翼と胴体を分離した状態で展示します。

第15回市政報告会

とき：平成28年11月12日（土）13時30から15時

ところ：雄飛ヶ丘公民館（那加雄飛ヶ丘町12-15）

連絡先：各務原市那加昭南町 97-1-201 坂澤博光

電話&FAX：058-371-1270 携帯電話：090-7026-9861

Eメール：hir_skzw@d1.dion.ne.jp、ホームページ：「さかざわ博光」で検索